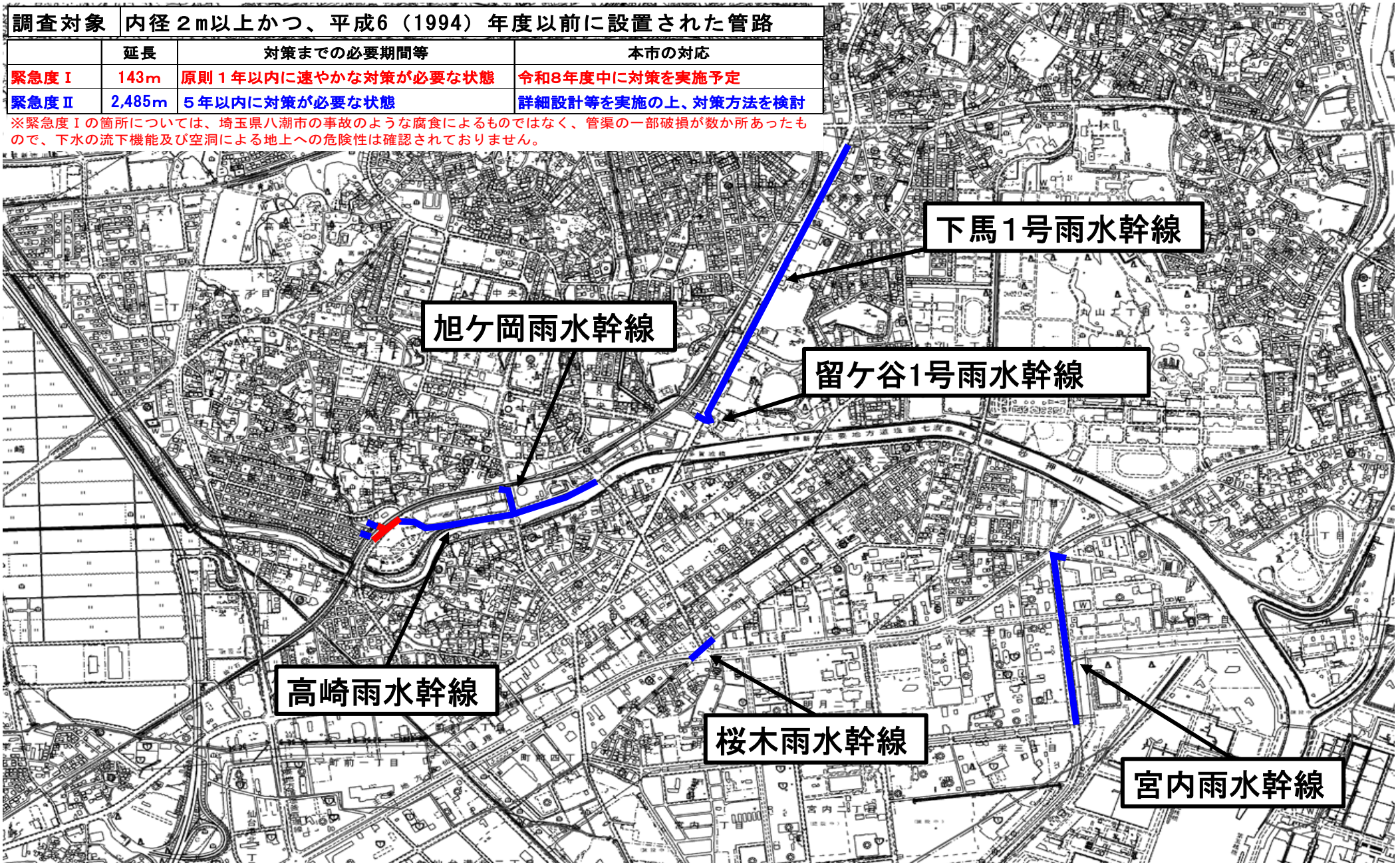
下水道管路全国特別重点調査に伴う結果概要について

※令和７年8月から管内目視調査及び空洞調査を実施し、以下の箇所で緊急度Ⅰ及び緊急度Ⅱという報告を受けたもの

調査対象	内径２m以上かつ、平成6（1994）年度以前に設置された管路		
	延長	対策までの必要期間等	本市の対応
緊急度Ⅰ	143m	原則１年以内に速やかな対策が必要な状態	令和8年度中に対策を実施予定
緊急度Ⅱ	2,485m	５年以内に対策が必要な状態	詳細設計等を実施の上、対策方法を検討

※緊急度Ⅰの箇所については、埼玉県八潮市の事故のような腐食によるものではなく、管渠の一部破損が数か所あったもので、下水の流下機能及び空洞による地上への危険性は確認されておりません。